



平成 21 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 日本電産リード株式会社  
代表者名 代表取締役社長 戒田 理夫  
(コード 6833 大証第 2 部)  
問合せ先 管理本部長 松本 正  
(TEL. 075-315-8001)

## 株式会社ルス・コムの子会社化に関するお知らせ

当社は、このたび、株式会社ルス・コム（以下、ルスコム）の株式を取得し、当該会社を子会社化いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1 株式の取得の理由

当社は、半導体パッケージ基板やプリント基板向けの検査装置および検査治具の開発・製造・販売を主力事業とし、特に、微細な回路パターンが配線された基板の導通短絡検査を得意分野として事業を拡大してまいりました。半導体パッケージ基板やプリント基板の業界は、世界的な金融・経済不安からくる最終製品の需要減退で厳しい経営環境にあります。その川上にいる半導体メーカーは性能向上と製造コスト低減を狙いとして製造プロセスの微細化を前倒しする動きが見られます。そのような中で当社は、微細化に対応する次世代の検査技術の開発に注力しております。

一方、ルスコムは、ニッケル等の金属材料から電気鋳造技術によって最小内径 10 ミクロン（0.01 ミリメートル）、最小外径 20 ミクロンの超微細管（マイクロチューブ）を開発・製造するなど、設立からこれまで技術開発型のベンチャー企業として半導体検査プローブ向けに優れた製品を市場へ供給してまいりました。また、当社は、次世代検査技術の開発に際してルスコムの技術開発力を高く評価し、以前より緊密な協力関係を構築してまいりました。

当社がルスコムを子会社化することにより、次世代検査技術の開発を加速できるとともに、今後、検査治具における部材内製化というメリットを享受できると考えています。一方、ルスコムは、当社の経営資源を有効活用することで、既存の半導体検査プローブ向け事業を拡大することが可能となり、医療分野など新規市場向けの製品開発も強化できると考えられます。このように、当社は、両社事業分野におけるシナジー効果が期待できるものと判断しルスコムを子会社化いたしました。

#### 2 異動する子会社（ルスコム）の概要（平成 21 年 3 月 30 日現在）

- (1) 商 号 株式会社ルス・コム (<http://www.luzcom.jp/>)
- (2) 代 表 者 代表取締役 小島 袈裟雄

- (3)所在地 横浜市青葉区つつじが丘 27 番地 15  
(4)設立年月日 平成 12 年 11 月 13 日  
(5)主な事業の内容 半導体検査プローブ向け超微細管の開発・製造・販売  
(6)決算期 10 月 31 日  
(7)従業員数 16 名  
(8)主な事業所 事業本部（東京都八王子市）、工場（福岡県筑後市）  
(9)資本金 100 百万円  
(10)発行済株式総数 6,801 株  
(11)大株主構成 日本電産リード株式会社（98.8%）  
および所有割合

(12)最近事業年度における業績の動向

	平成 19 年 10 月期	平成 20 年 10 月期
売上高	96,547 千円	116,965 千円
経常利益	△30,310 千円	△10,768 千円
総資産	87,248 千円	91,735 千円
純資産	54,696 千円	43,348 千円

3 株式の取得先

- (1)取得先 ベンチャー・キャピタル 11 社（4,624 株）、個人株主ほか 11 名（2,097 株）  
(2)当社との関係 人的・資金的関係はありません

4 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

- (1)異動前の所有株式数 0 株（所有割合 0.0 %）  
（議決権の数 0 株）  
(2)取得株式数 6,721 株  
（議決権の数 6,721 株）  
(3)異動後の所有株式数 6,721 株（所有割合 98.8 %）  
（議決権の数 6,721 株）

5 今後の見通し

当該会社の子会社化による平成 21 年 3 月期の連結業績及び単体業績予想への影響は軽微であり、平成 22 年 3 月期の連結業績及び単体業績の予想は現在精査中です。

以 上